

水の郷 ニュース

柳川総合保健福祉センター
「水の郷」
「水の郷くらぶ」
柳川市上宮永町 6-3 ☎ 75-6200
FAX75-6210

■開館時間 午前9時～午後9時(温泉は、午前10時～午後8時30分で入場は午後8時まで。図書館分室は午前10時～午後6時。すこやかルームは午前10時～午後9時)
■11月の休館日 7日、14日、21日、26日、27日、28日

11月の水の郷シネマ
大鹿村騒動記

◆日時 12日(土)、午前10時30分、午後1時30分、午後7時の3回
◆料金 前売り800円、当日1000円
※当日券は販売中止もあり。回数券は6枚で5000円。1年間使えます。前売り券、回数券の払い戻し不可。

柳川市民劇団「くもで座」錦秋公演
風のメルヘン・2011
～東日本大震災被災地に想いをこめて～
◆日時・場所 ①11月19日(土)、午後4時30分～②20日(日)、午前11時～③同日、午後3時～、水の郷ホール(開場はいずれも30分前)
◆料金 一般1000円(当日1200円)、中学生以下500円、親子ペア1200円(中学生以下の子ども対象)

特別休館日のお知らせ
11月26～28日は、機械の保守点検のため全館休館します。

～柳川温泉「南風」イベント～
日本舞踊 泉徳弓社中
あで
「艶やかに舞う」

日時 11月12日(土)、午後1時～
料金 観覧無料(ただし温泉入場料必要)

水の郷 ホール
11月の主な催し
◆YANAGAWAチャリティーライブ「和's BEAT! & チャリティー歌謡ショー」6日(日)、午後2時～、入場料2000円
【問】 柳川FC (☎ 74・0226)
◆柳川青年会議所 11月公開例会講演会「師匠と弟子と絆～親子と地域で大金星～」9日(水)、午後7時～、入場無料
【問】 柳川青年会議所の幾度さん (☎ 73・4015)
◆福岡県母子保健大会 10日(木)、午後1時～、入場無料
【問】 南筑後保健福祉環境事務所健康増進係の田島さん (☎ 72・2185)
◆銀河ドリームコンサート柳川 13日(日)、午後1時～、入場料1000円(小学生以下無料)
【問】 障害児交流コンサートの森永さん (☎ 090・4353・5658)
◆唄よし 15周年記念歌謡祭 23日(水・祝)、午前9時30分～、入場無料
【問】 唄よしの與田さん (☎ 75・1266)

小学生以下の子どもたち集まれ
おはなしパーティー開催
子どもたちに物語の楽しさを知ってもらおうと、図書館では「おはなしパーティー」を開催します。参加希望の人は、事前に図書館本館で申し込んでください。
◆日時 12月4日(日)、午後2時30分～4時、参加無料、先着100人
◆会場 あめんぼセンター2階AVホール
◆受付期間 11月9日(水)～27日(日)

雲龍図書館 冬のおはなし会
クリスマス・リースを作ろう
日時 12月10日(土)、午前10時30分～11時30分、参加無料
会場 雲龍図書館2階絵本の部屋
対象 小学生以下、先着50人

■おはなし会(小学生以下)
▶本館＝毎週土曜、午後2時30分～▶三橋図書館＝第2・4土曜、午後3時～▶雲龍図書館＝第2土曜、午前10時30分～▶昭代分館＝第1・3土曜、午前11時～▶両開分館＝第2土曜、午後2時30分～▶蒲池分館＝第2・4土曜、午前11時～

11月の無料映画会
11月12日(土)、午前11時～＝名画劇場「日本沈没」(140分)、午後3時～＝子ども映画「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶアッパレ! 戦国大合戦」(98分)

図書館 ニュース

▷本館☎ 74-4111 FAX74-4946 ▷三橋図書館☎ 74-6300 ▷雲龍図書館☎ 76-1122
▷両開分館☎ 74-4116 ▷昭代分館☎ 74-5111 ▷蒲池分館☎ 74-6200 ▷水の郷分室☎ 75-6204

■開館時間 午前10時～午後6時(金曜日は本館、三橋図書館、雲龍図書館とも午後8時まで)
■11月の休館日 月曜日(三橋図書館は火曜日)※3日(木・祝)と23日(水・祝)は、両開・昭代・蒲池分館が休館。24日(木)は資料整理のため全館休館

おすすめ新着図書

知ってる? 正倉院
奈良国立博物館 監修(ミネルヴァ書房)

正倉院には1250年間もの間、守られてきた宝物がたくさんあります。この本は、写真やイラストを使って小学校低学年からでも読めるように工夫。宝物とそれに関わる物語を紹介しています。

キレイの台所
テレビ大阪「キレイの台所」制作班 編(主婦と生活社)

佐伯チズ、久本雅美、寺田真二郎の3人が、体の中からキレイになれる料理を紹介するテレビ番組が本になりました。レシピが、写真付きでわかりやすく紹介されています。

近代日本の創業者 100人
井澤 豊一郎 編集(世界文化社)

近代日本の有名な創業者100人は、どのように成功をつかんでいったのか。彼らが歩んだ道のりを知ることで、彼らのパワーや情熱、失敗を恐れない不屈の精神をあなたのものにできるかも。

柳川百選まち歩き

第31回

市民の皆さんが大切にしたいもの、誇れるものを応募の中から「柳川百選」を選びました。このコーナーでは、シリーズで紹介していきます。郷土の素晴らしさを再発見しませんか。

柳川百選「は市企画課で配布。市のホームページでもダウンロード可。問い合わせは、同課(☎ 77・8423)へ。」

現在でも慶長本土居は、有明海干拓事業の本格的な出発点として、高く評価されています。

▲県道767号線は、慶長本土居の上を走っています。

約400年たった現在でも、市内に慶長本土居の名残が見られます。有明海沿岸道路の大和南IC入口近くの灯台公園に、江越八幡海岸灯台があります。この灯台は、有明海で漁をする船の目印として慶長本土居の上に築かれたものです。その後、江越八幡宮の常夜灯として使われ、さらにその後、現在の場所に移されました。現在、市の文化財に指定されており、かつての海岸線を示す貴重な史料です。

柳川市 慶長本土居
新田神社
血垣開
鷹ノ尾
橋本町
有明海
県道767号線
昭南町
沖端川
江越八幡海岸灯台

▲佃町の新田神社は堤防をつなぎ合わせる潮止口だった場所です。

▲江越八幡海岸灯台は、この辺りがかつて海との境界だったことを示めています。

慶長6(1601)年、筑後国主になった田中吉政は、現在の柳川の基礎となる土木工事を次々に行いました。吉政は柳川城に入城するとすぐに、有明海の干拓事業に取り組みました。干拓によって新田を開発して、年貢の増収を図り、財政を安定させるためです。吉政は大川市北酒見からみやま市高田町渡瀬までの有明海の沿岸に、約32キロにもおよぶ慶長本土居と呼ばれる堤防を築きました。

慶長本土居は、吉政によって新たに築かれたというよりも、それまで個別に存在していた堤防を結びつけて、補強したものだと考えられています。吉政は干拓事業によって、狙い通りに財政を安定させることに成功しました。